

令和5年度における栗東市の防犯重点推進状況等について

1. 特殊詐欺

現状	・令和5年1月から10月末時点で栗東市での特殊詐欺被害件数は11件と昨年度の件数4件に比べ、大幅に増加している。被害額は累計約1,173万円。
取り組み状況、進捗状況	・地域安全ニュース「まちかど」を毎月発行し、自治会に配布するとともに自治会内で回覧を実施。(毎月) →4月号から11月号まで全自治会内で回覧済み。 ・市内や県内で多額詐欺の被害発生時に防犯メールにて配信。 →今年度20件の詐欺に関する内容を防犯メールにて配信。 ・県警OBによる出前講座の実施。 →9月に安養寺西自治会、11月に今土自治会にて出前講座の実施。 ・草津栗東防犯自治会の事業である地域安全連絡所責任者研修会にて草津警察署生活安全課による特殊詐欺被害防止の講演を実施。(7月) →草津栗東で108名の地域安全連絡所責任者が出席。
課題	・詐欺の手法がメッセージングアプリ上でのやりとりなど第3者が気づきにくい手法に変化しており、未然に防ぐことが非常に難しいことが課題である。

2. つきまとい、子どもへの声掛け等の事案

現状	・令和5年1月から10月末時点で草津署での認知件数はつきまといが20件、声掛け等の事案が9件であり、前年と比較すると減少傾向にある。
取り組み状況、進捗状況	・防犯メールにてこども・若者の性被害防止の啓発文を配信。(8月) →8、9月をこども・若者の性被害防止のための緊急啓発期間とし、8月中旬に同内容を防犯メールにて配信。 ・同様に市公式 Facebook でもこども・若者の性被害防止のための緊急啓発期間の内容について配信。(8月) →市広報課に依頼し、市公式 Facebook でも同内容を配信。
課題	・地域の中でつきまといや子どもへの声掛け事案などを防ぐことのできる監視体制の強化などの促進が課題である。

3. 自転車盗

現状	・令和5年1月から10月末時点で栗東市での自転車、自動車、オートバイなどの乗物盗の被害件数は45件と昨年度同じ期間での件数75件に比べ、減少傾向にある。
取り組み状況、進捗状況	・6月9日のロックの日になんだ鍵かけの啓発活動として自転車用のダイヤルロックなど、啓発品の配布を実施。(6月) →危機管理課職員、草津警察署生活安全課職員で栗東市役所庁舎前にて啓発活動の実施。 ・防犯メールにて自転車盗防止の啓発文を配信。(随時) →8月に自転車盗防止の啓発文を配信。
課題	・市民の鍵かけに対する意識を向上させることが課題である。